

2015年9月27日

生・労働・運動ネット アンラーニング運営チーム

## ■ アンラーニング2015〈問い〉をもちよる ケアをめぐるって考える

### 第2回 施設で考えた中途半端な支援と労働・・・。 その「中途半端」さをさらに考える

#### □ はじめに

政治から経済へ 安全保障法の成立の直後、安倍政権から  
新3本の矢は、1) 希望を生み出す強い経済、2) 夢を紡ぐ子育て支援、3) 安心につながる社会保障——で、「介護離職ゼロ」のほか、出産を望む女性のみを対象に算出する希望出生率を1.8まで引き上げる目標などを打ち出した。急速な高齢化を背景に社会保障費用は増加を続けているが、「生涯現役社会」の構築を目指し、高齢者の活躍推進を強化する考えも示した。

この目標に「経済のための子育て支援、社会保障」を進めようとする生政治のありようが垣間見えてきます。

私・私たちをアンラーニングすることの必要性をさらに感じている。そして、社会的なものに対する報告者の〈問い〉とあなたの〈問い〉を重ね、交流することで、現状のありようを探る視点、検証方法にむけて、議論が深まればよいと考えている。

前回のこと、

第1回 「施設で考えた中途半端な支援と労働」報告を聞いて、議論を深めるねらいに近づくことができなかった。

ZINE・5について、

報告者は、障害者解放運動に関わる者、施設職員、そして労働者として、どれも「中途半端」だったが、どれにも真摯に向き合い、揺れ動き、悩み続けた。

ZINE・5という形で報告してもらったことを文章化。

聞くという行為と読むという行為を合わせて、議論をさらに深めたい。

今日の進め方

議論を深める方向をどのように進めていくのか

「中途半端」さを軸に

ひとつは、介護者？ 労働者？ 施設職員？ どれにも真摯に、揺れ動き、悩み続けたあり方に。もうひとつは、介護者、労働者、施設職員のどれでもないありかた、福祉業界の話ではない視点で、現在の「ケアをめぐるって」議論したい。

□ 「中途半端さ」をめぐって議論してみよう

① 前回の報告、ZINE・5について 質問

② 「中途半端」さについて、どのように考えるのか  
労働者？ 介護者？ 施設職員？ あるいは？  
報告者の15年間の体験をどう見るのか？  
今後の報告者へ いたいこと

③ 障害者解放運動との関わりについて

障害者解放運動と関わり、そこで突きつけられた課題をどのようにしていたのか。  
そして、今どうなっているのか。

④ 「ケア」という関係性について（運動的な視点ではなく）

相互の関係を築くとはどのようなことなのか。どのような問いになっているのか？  
タカラモノを〈共有財産〉にするとは、「何をどうすることなのか」

⑤ 社会福祉基礎構造改革の進行（自立支援法→障害者総合支援法）について

介護者から施設職員を選択したとき、基礎構造改革の3つの理念に「夢の実現」  
を垣間見て、障害者解放運動の成果が実現するかのように思えた。しかし、そう  
ならなかった。なぜか？また、基礎構造改革は、施設のあり方、施設職員、利用者  
に何をもたらしたのか？

□ 第3回 について